

御 蘭 小 だ よ い

平成26年5月19日
伊勢市立御蘭小学校

<http://www.ise-mie.ed.jp/~misono-e/>

No. 110

校長室より

先日の土曜日の早朝、臥竜梅公園へ梅の実を見に行きました。梅の花が咲くころには、たくさんの人でにぎわう公園ですが、この頃はとても静かです。緑が豊かで、私は今の時期の公園が大好きです。臥竜梅には、今年もたくさんの梅の実がついていましたが、中には一つの花からいくつもの実が出来ているものもありました。写真は、四つの実がついているものですが、四葉のクローバーみたいで縁起がよさそうだったので、写真に収めてきました。いつも思うことですが、臥竜梅って本当に不思議な梅ですね。



梅の実の話題をもう一つ。金曜日の朝、登校してきた一年生の子が、私のところにやってきて、「校長先生、これあげる。」と言って、小さな梅の実を私に差し出しました。道に落ちていたのを拾ってきたのでしょう。落とさないように小さな手でしっかり握りしめて来たためか、ほんのり温かかったです。「ありがとう。」と言って受け取ると、すぐに机の上に置きました。その小さな梅の実は、誰かに踏まれてしまったのか、少しつぶれていました。でも、そのつぶれた梅の実を見るたびに、その子の優しさが感じられて、とても幸せな気分になりました。

二つの幸せな梅の話題でした。

初夏の花壇



月曜日の6限目は委員会活動でした。どの委員会も、はりきって活動してくれていました。さすが御蘭小学校の高学年です。そんな中、園芸委員会は校庭の花壇への花の植え付けをしていていました。パンジーやデイジー、ノースポール、サクラソウなどが植えられていた春花壇に対して、初夏の花壇にはペチュニアやポーチュラカ、日々草などが植えられました。これらの花々は、夏の猛暑に耐えて、私たちの目を楽しませてくれることと思います。学校へおいでの折には、校庭の花壇もご覧下さい。



学校探検

1年生の子どもたちが入学して、早くも一カ月以上がたちました。段々と学校生活にも慣れ、運動場を走り回って遊ぶ子どもたちの姿をよく見かけるようになりました。先週も、学



校探検があったのですが、校内の各部屋や教室を見学して回る1年生は、頼もしくさえ感じました。2～3人のグループに分かれた子どもたちは、緊張しながらも、ちゃんと挨拶を言って入室することができました。室内では、黙って部屋の様子を図にあらわしていました。帰る時にも、し

っかりお礼が言えました。こうやって一歩ずつ成長していく子どもたちを見ていると、私たちも元気とやる気がもらえます。

鈴虫がふ化しました

去年は、早く水を与えすぎて、4月下旬の寒さでうまくふ化しなかった鈴虫ですが、今年は連休明けに水を与え、ここ数日の高温で無事ふ化しました。まだ5mmにも満たない大きさですが、鈴虫の特徴である長い触覚もついて、とても元気に動き回っています。これから夏に向かって何度も脱皮し、7月中頃には鳴き始



ふ化した鈴虫

めるのではないかと思います。今週からは廊下に置いて、子どもたちにも観察してもらう予定です。さてさて、子どもたちの反応はどうなのでしょう。鈴虫の成長とともに、これらもご紹介していきます。

初夏の陽気

先週の火曜日は、地域によっては30度をこえた場所もあったそうですね。この地方でも、25度は軽く超えたようです。朝が肌寒かっただけに、日中の暑さは体にこたえますね。こんな時期が、真夏よりも熱中症にかかりやすいそうですから、どうぞご注意ください。そういえばこの日の朝、プールの横に立っていると、登校してきた子どもたちから「田んぼにオタマジャクシがいっぱいおるよ。」という話を二回聞きました。冬眠を終えたカエルたちが産卵して、それがふ化したのです。季節は駆け足で私たちの傍を駆け抜けていきます。うっかりしていると、その変化の兆しささえ見落としてしまいそうな勢いです。あわただしい日常の中でも、子どもたちと季節の移り変わりを感じ取る余裕を持ちたいものですね。



アマガエル

季節は初夏を迎えました。何をするにもいい季節です。

小満 ～しょうまん～ 5月21日

二十四節季のひとつ、陽気がよくなり草木が成長して茂るという意味です。農家では田植えの準備を始める頃。(この地方ではすでに終わっていますが・・・)動物や植物にも活気があふれます。また、秋にまいた麦の穂が付くころで安心する(少し満足する)という意味もあるそうです。